

作成 99 年 8 月

< 夏休み自由研究 >

「ゴミゼロプラン静岡」市民ネットワーク

連絡先 壺阪道也 〒421-0111 静岡市丸子新田 277-4

TEL・FAX 054-257-3177 Email mirai2@bj.mbn.or.jp

我が故郷岐阜県関市のゴミシステム 「何が静岡と違う？」

まったく無料だったゴミ回収自治体サービスが

標準家庭（2 人～6 人世帯）で年間 100 枚は実費 1 袋 6 円でゴミを捨てることができるのですが.....（週 2 回それぞれ一袋づつ）

それ以上は 1 袋 300 円、

粗大ゴミは 1 個 500 円になってしまったのです！

但し、ゴミ量が少ない家庭はわずかでも割り戻し金がありますが.....。

1996 年（平成 8 年）10 月 1 日よりゴミ回収システムが変わりました。

燃やせるゴミ袋 1 人世帯.....年間 80 枚

2 人～5 人までの世帯.....年間 100 枚

6 人以上の世帯.....年間 110 枚

燃やせないゴミ袋 各世帯とも.....年間 12 枚

ゴミ袋の値段 可燃ゴミ袋 大 1 枚 6.0 円 小 1 枚 4.5 円

不燃ゴミ袋 1 枚 9.5 円

事業系ゴミ袋 1 枚 300 円 超過ゴミ袋 300 円

ゴミ袋が余った場合 10 枚券 1 枚につき 100 円で引き取られる

粗大ゴミ（大型冷蔵庫・戸棚・タンス等指定袋に入らない物）

粗大ゴミ 1 個につき 500 円の手数料

戸別収集とステーション収集の 2 本立て 市指定の粗大ごみシールを貼って出す

その他

食品トレイ・発泡スチロール・ペットボトル・牛乳パック・古紙（新聞・雑誌・ダンボール・紙箱）・古着・空缶・空きビンの月 1 回のステーション回収

プラスチックごみ専用袋（年間各世帯とも 6 枚）（とりあえず燃やしている来年のり法完全実施に向けて準備のため）

焼却灰専用袋（各世帯年間 12 枚 10 円/袋）

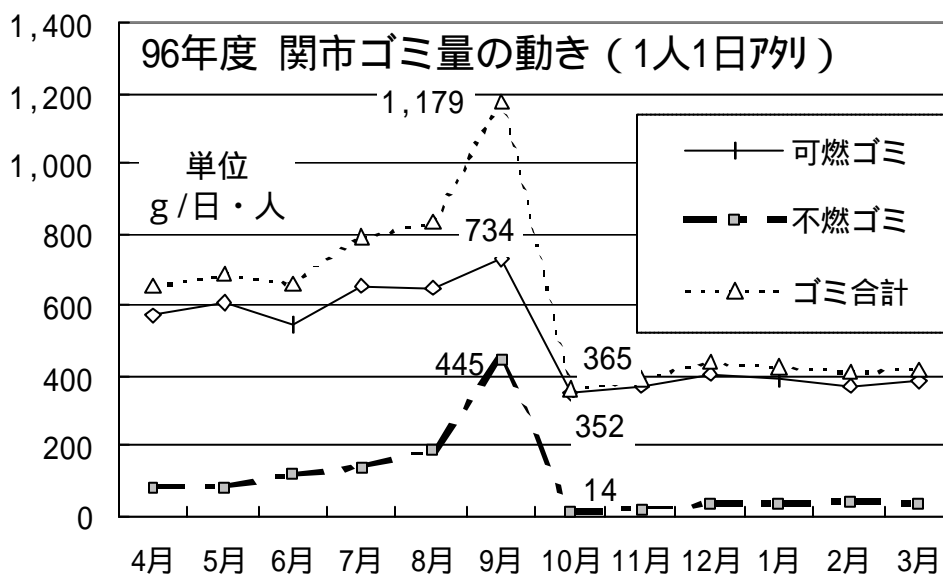
今年の夏休み 8月13日、部分ゴミ有料化が実施された関市に帰郷する機会があり、ゴミ有料化によって「ゴミ量はどう変わったか?」を調べるために関市役所を訪ねました。

かくして96年10月関市ではごみ部分有料化が実施されました!

「ゴミ袋有料化で何か変わりましたか?」窓口の担当者に聞きました。その答えは「それは凄まじい戦争そのものだった!」でした。

96年9月のごみ量は前年同月比 可燃ごみ+40% 不燃ごみ+520%

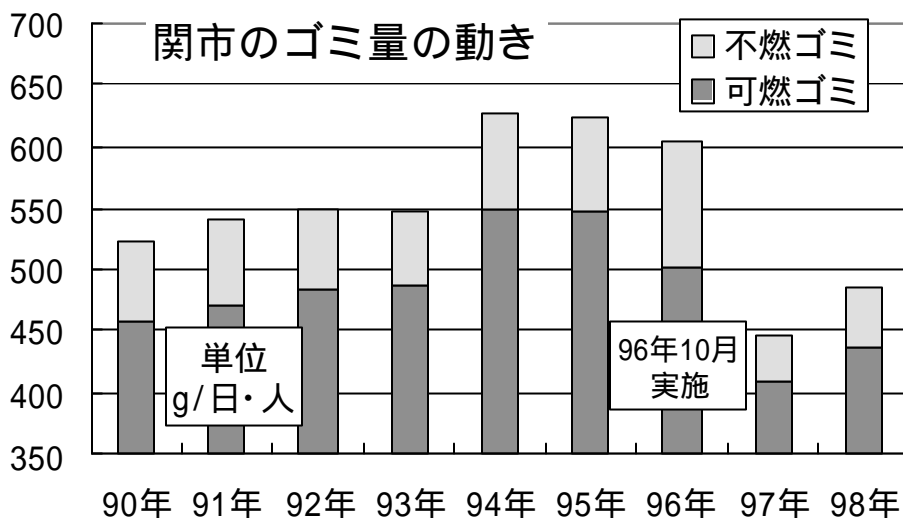
教えていただいた数字は月別の可燃ゴミ・不燃ゴミの重量でしたので、関市の人口7,4026人とそれぞれの月の日数で割って下記の表を完成させました。



注目すべきは可燃ごみの部分有料化より、粗大ごみ有料化1個500円の威力です。静岡市民もまだそうですが、便利なものを買うときはお金がかかり捨てるのは無料と信じてきた神話が崩れたのです。

有料化の前月は無料で捨てられるものは捨てておこうという心理が働き、ゴミが殺到しました。特に不燃ゴミは前年比の6倍以上集まり、有料化実施後前年比1/4以下、前月比1/30以下になったのです。

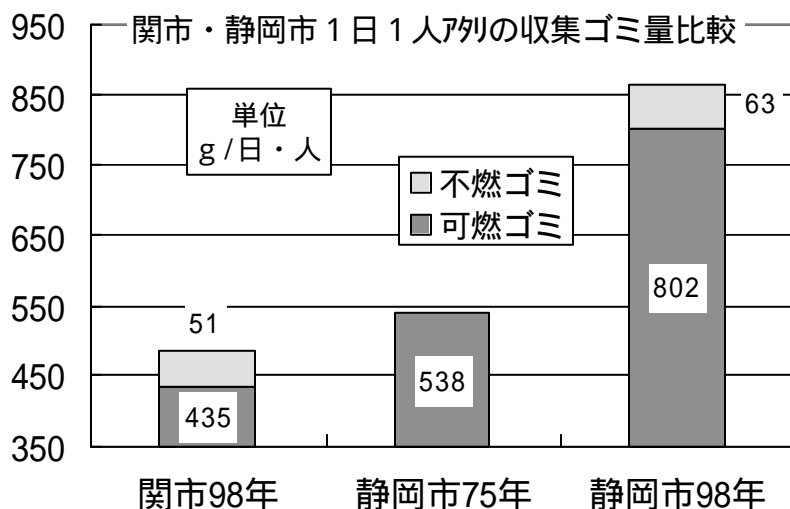
こうして関市のごみ量は96年10月以来確実に減っていることがわかりました。(8月13日関市市役所訪問)しかし、よく見るともっと驚くべきことがありました。



関市のゴミは静岡の25年前より少ない！

関市は人口約74000人の静岡と比べ小さな町です。静岡との比較をしようと1人1日A列のごみ量を計算したとき私はその少なさに驚きました。

「ゴミを半減しよう！」と訴えているその目標の25年前よりゴミ量が少なかったのです。



市役所にもう一度戻り、窓口の人（先程資料をもらった人）に尋ねました。よく見るとその人は生活環境課長さんでその人の席は市民窓口カウンターのごく横にあり、他の一般課員の席は課長席の後ろにありました。「ごみ減量は徹底したりサイクルです！」と課長さんの答えでした。課長さんの席が窓口カウンターの横にある！これも驚きでした。行政の意気込みも違うのかなあ……。

ゴミ減量は徹底したリサイクルです！...と言うけれど...

関市と静岡市との分別リサイクルの大きな違いはトレー・ペットボトルをステーション回収をしていることです。98年度その回収量は1人1日当たり92g。可燃ゴミ、不燃ゴミのゴミ量486gと合計しても578gしかありません。関市は分別リサイクルをやめても、静岡より30%以上少ないのです。

でも思い起こせば25年前、ゴミ量が今の半分かくらいだった頃、分別リサイクルなんて誰もしてなかったような.....

関市の分別リサイクル量 単位 g/日・人

	97年度	98年度
食品トレー	1.9	1.1
ペットボトル	1.5	2.6
古紙類	36.0	51.4
牛乳パック	1.1	1.0
無色ビン	11.0	10.3
茶色ビン	11.7	10.2
その他ビン	9.5	3.1
スチール缶	9.1	9.5
アルミ缶	3.0	3.1
計	84.7	92.1

静岡市4月～6月平均(g/日・人)

	99年度	98年度
ペットボトル	1.5	0.6
古紙	52.2	45.4
ビン類	35.7	35.0
かん類	18.3	19.4
その他	9.2	7.6
計	116.8	108.0

直営収集と言っても静岡は事業ごみが多いからだと思い込んでみたものの、事業所用の指定ごみ袋の売上数からは、1

人1日100gの違いもみつけれませんでした。何が違うのでしょうか？

静岡市事業所用指定袋売上数

	93年	94年	95年	96年	97年
販売枚数	951,820	1,283,610	1,205,960	1,241,840	1,278,800
1袋5kgトシ 単位 t	4,759	6,418	6,030	6,209	6,394
1人1日あたり 単位 g	28.3	38.1	35.8	36.9	38.0

平均1世帯1回1袋のゴミしか出してないんだ！

もうひとつ課長さんに聞きました。週2回年間100袋は実費だけど「1袋300円の追加袋はどのくらい売れているのですか？」

その答えは98年度関市追加ごみ袋売上7801袋(1世帯あたり0.34袋)でした。年間1世帯0.34袋ですから、ほとんどの家庭は1回1袋以内に収めているのです。理由はわからなかったけれど、当面の静岡の目標はこれだ！と思いました。1世帯1回1袋以内ができればゴミは半減するのです。